

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.600

竹の子会総務委員会

令和元年7月11日

第63期 終了のあいさつ



第63期
会長
堀 陽介

第63期スローガンといたしまして、「報恩謝徳を胸に！～感謝で高める結束力」のもと、伝統ある大垣竹の子会の会長という大役を一年間務めさせていただき誠にありがとうございました。皆様に本当に支えられ、こうして無事に第64期川上会長にバトンを引き継ぐことが出来たことにまずは感謝

申し上げます。

第63期のスローガンは、今まで私が竹の子会やつどい協議会で様々な役をやらせていただいた際に感じたことや助けられた経験を基に、是非皆様にも大切にさせていただきたいという想いから決めました。一年間を振り返ってみると、仲間の為に親身になって活動する姿、そしてそれに報いようとその会員が活動してくれた会員の為に行動をしようとする、そういった姿を目の当たりにし大変嬉しく感じました。会員である以上、例会を含めた各事業、役員会議、普段の委員会活動に出席する義務は当然ありますが、人数が減少傾向にある近年では一人一人のアイデアや意見、行動力はより重要なものになってきております。出ることが当たり前と思わず、その協力に対して感謝してこそ団結力にも繋がるのだと思います。この竹の子会らしさを皆様にはこれからも大切にさせていただきたいと思います。

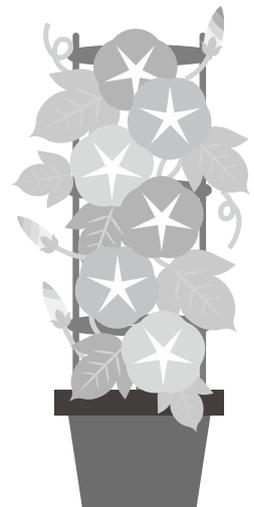
また、清水OB会長をはじめ多くの特別会員の皆様にも大変ご尽力いただきましてありがとうございました。特に新入会員獲得についてはこれまで以上にお声掛けいただきましたので、より多くの情報を獲得出来たと同時に現役会員の意識も変わったと思

います。単年では結果として出すのは難しい部分もございますので、数年のスパンでこれからも引き続き私達は活動してまいりたいと思います。

その他、ここ最近では行われていなかったOBゴルフ会で特別会員と現役会員の交流を持てたことは嬉しく思っておりますし、普段の会話の中で竹の子会や会長とはどういったものか多くの方に様々な考えをお聞かせいただき大変勉強させていただいた一年でした。

改めて、多くの特別会員の皆様、現役会員の皆様に支えられて第63期を終えることが出来たことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、私は第67期に卒業を迎えますので会長を終えてから今期を含め4年ございます。今期は直前会長として川上会長を支えながら、残る4年間は第63期に経験させていただいたことを基に色々なところに目を配って会員をサポート出来るよう努めてまいります。それと同時に、竹の子会の活動だけではなく学ばせていただいたことを仕事や日常生活に活かしてこそ皆様への恩返しだと思っておりますので新しいことにチャレンジする気持ちを大切にしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。



第64期 会長あいさつ

第64期スローガン

「S・I・N ～信頼・芯心・進歩～」



第64期
会長

川上 祐輔

令和元年7月1日をもちまして、大垣竹の子会64期会長に就任致しました。59期入会の川上祐輔です。64年もの長きに亘り存続してきた当会の会長になるにあたり身の引き締まる思いです。自分の等身大の力、それ以上に遊び心や色気を出し会員を牽引できるような会長になり大

垣竹の子会がこれから先、盛り上がっていくよう邁進していく所存です。

さて、今期64期の活動をしていく中で指針となるよう今回スローガンを

「S・I・N ～信頼・芯心・進歩～」

と掲げさせていただきました。スローガンを作成するにあたり、まずはじめに考えたことは自分が経た経験とそれを会員に端的にうまく伝えるということです。その思いを言葉にするため熟慮しました。そして生まれたのがこのスローガンです。

「しん」という言葉は多くの漢字で表現できます。進・信・芯・新・親など挙げればキリがありません。しかし、どの漢字も自分が感じてきたことや経験したこととして言い換えることができ、とても多くの意味を持った言葉だと考え、掲げさせていただきました。

私が大垣竹の子会に入会して6年、自分を取り巻く環境や会を取り巻く状況、ひいては世の中でさえ大きく変貌してきました。その中で普遍的なものも感じています。それが1つ目の信頼という言葉です。仲間同士がお互いを信じ、お互いを頼って活動が成り立っていると考えます。自分だけではできない部分を相手に頼り、信じ任せることにより関係も深まり良い関係性が生まれることを実感してきました。この関係性こそ、竹の子会における信頼だと考えます。

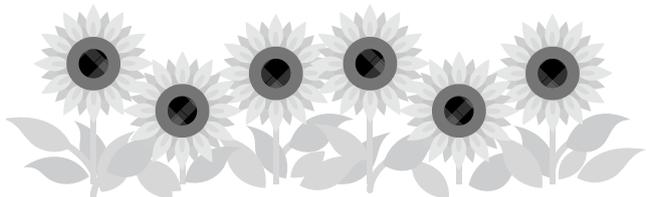
2つ目の言葉、芯を心に持つという造語です。誰しも周りの意見や慣習、前例などに大きく左右されると考えます。会の活動においても多くの意見が出て、自分の色や考えを忘れてしまうことがあります。そうならぬよう芯を持ち、自分の想いを反映できる会であり会員になれるよう想いを込めてこの言葉を選びました。目標や事業の達成を目指していく中で、胸に留めておいて欲しい言葉です。

最後に進歩という言葉ですが、今現役会員の多くは35歳未満のこの先5年以上、会に関わっていくことになる会員が多い現状を踏まえて選びました。

この先、竹の子会が状況や社会の変化に対応し、より良い会になるためには一歩ずつでも前に歩を進めて行かなければならないと考えます。特に会に関わる年数が長い会員には大きな変化を伴う進化という言葉ではなく、伝統を持ち、先を見据えて、着実に一歩ずつ進歩してもらいたいという想いを込めました。

この3つの言葉が代表するものですが、他にも多くの「しん」という言葉が表す漢字が自分の伝えたいこと、自分が先輩たちから学んだこと、そして後輩に伝えたいことに表せます。今期、自分が語る中で伝えていきたいと考えます。

今期以降に続く会の活動、そして100年先も大垣竹の子会が存続するような会になっていくためにこのスローガンで64期、活動していきたいと思えます。



例会（会員親睦会）

日時：平成31年3月27日（水）
場所：粕川オートキャンプ場



総務委員会
委員長
市川 崇史

皆さんこんにちは、第61期入会、総務委員長の市川崇史です。去る3月27日（水）に3月度例会（会員親睦会）を粕川オートキャンプ場（揖斐川町）にて開催させていただきました。今回私は初めて例会事業というものを委員長として0から内容を考える事になりました。意外と考えてみると何をすれば会員の親睦が深められるのか考えれば考えるほどわからなくなり、改めて今までの先輩方の事業をされてこられた偉大さ、ありがたさを痛感させていただきました。皆がさらに語り合い仲が深められるような例会にしようと思い、そして桜が咲きそうな時期でもあったので、夜桜の下、皆で焚火をしながら語り合い最後はキャンプファイヤーをしながら親睦が深められればと思い【花見兼キャンプファイヤー】をしようと思ったのですが、心配な点が多くあり、断念するしかなく違う内容の親睦会を考えさせていただきました。その内容を役員会で発表させていただいたのですが、やはり役員メンバーからは、やりたい事業とは違う内容をしているのではないかと気付かれ厳しさの中に温かみのある言葉をいただき、【花見】を執行しようと思惟させていただきました。ですがやはり0から決める事業であり外でやるという事で不安な点が多くあり中々うまくまとまりませんでした。委員会を何度も開き忙しい中来て一緒に考えていただいた委員会

メンバー、温かい言葉をかけていただいた会員の皆様には本当に助けていただき、何とか事業の内容を決めることができました。でもやっぱり不安がある中、当日をむかえ準備をしていると違う委員会の会員が早く来て一緒に準備を手伝ってくれたり、道具をもって来ていただけたりととても助けていただきました。改めて竹の子会のメンバーの優しさを感じました。また今回、他団体の方からも道具を無償でお借りするなど本当に皆様に助けていただきながら無事に大きな問題もなく、事業を終える事ができました。桜は少ししか咲いてなかったですが、それ以上に会員の皆様に盛り上げていただき、逆に私の方が親睦を深められてしまいました（笑）。最後に当日スタッフとして依頼をしていないのに率先して協力していただいた方々、無償で道具を貸していただいた他団体の皆様そして例会を盛り上げていただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。最後に総務委員会の斎藤さん、村林さん、そして野原事務局長、一年間苦楽を共に今日まで不器用な私を支えていただきましたこと誠に感謝申し上げます。本当に楽しい委員会でした。ありがとうございました。



例会（新入会員例会）

日時：令和元年5月21日（火）
場所：大垣市総合体育館



第63期
入会
青木 大輔

皆さまこんにちは。第63期新入会員の青木大輔です。令和元年5月21日に体育館で新入会員例会が行われました。例会を決める際は、新入会員が僕1人ということで何をすれば楽しく親睦も深められるかと思いみんなのできるスポーツと考えた時、野球がいいと思ったのですが、普通の野球よりはいろんなボールやバットで変則野球の方がみんな楽しく親睦も深められるのではないかと

と思い開催することにしました。初めは不安ばかりでしたが竹の子会の皆様に盛り上げて頂き、楽しい例会ができた感謝しています。

新入会員例会を通して、例会を企画することの大変さと皆様のご協力があった初めて例会が開催できるということ学びました。仕事で参加できない例会とかもありましたができる限り参加していきたいと思惟います。今後ともこの経験を活かして、より良い事業を創り上げる為、精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



例会(卒業生を送る会)

日時：令和元年6月21日(金)
場所：大垣フォーラムホテル



親睦委員会
委員長
蒲田 晃二

皆さまこんにちは。第63期親睦委員長の蒲田晃二です。6月21日(金)に大垣フォーラムホテルにて6月度例会卒業生を送る会が盛大に執り行われました。今期は2名の先輩が卒業されました。私は個人的に入会する前のタイミングから永井さんにお世話になってきましたし、私が竹の子会に入会してからも活動の中で自然に魅せてくれる永井さんの背中に憧れ影響を受けてきました。そんな先輩を担当委員長として最後の例会で送り出せることは身に余る思いでしたが、光栄に思いやらさせていただきました。

6月度例会ということで準備の大半が6月になるのですが、この時期は来期のことや違う団体での活動のことでやるが多すぎて私はパンクしかけていましたが、同じ委員会のメンバーや違う委員会のメンバーにも助けていただき何とか例会を迎えることができました。当日は司会を担当しました。会の序盤から永井さんの笑顔を司会席で見ることが喜びに思えました。また、永井さんが務められた60期の会長の時の常任メンバーからの記念品贈呈の時

に堀会長が「永井会長」と言われたのがすごく印象的でした。すごく濃い時を過ごされたと聞いていますから、いつまで経ってもそう呼べるのかなと思いました。私自身もいつかはそのような経験や思いができればなとも思いました。

事業の運営については至らぬ点多々あったかと思いますが、多くの方々にお褒めの言葉をいただけたのと、何より卒業生に喜んでいただけたので大成功と言っても過言ではないかと思えます。

最後になりますが、今回ご参加いただきました現役会員、特別会員の皆さま、卒業生の方のご協力のおかげで無事に事業を終えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。そしてご卒業されました皆さま、今後の益々の活躍を祈念するとともに、更なる竹の子会の発展のためにご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



第63期 卒業生あいさつ



第57期
入会
永井 清睦

57期入会の永井清睦です。まず始めに、先日の卒業生を送る会にて盛大に送り出して頂き、誠に有難うございました。

入会して7年という月日は、駆け足で過ぎ去っていったように感じています。

しかしながら、諸先輩方に右倣えの新入会員時代に始まり、大垣市青年のつどい協議会へ出向させて頂いて「十万石ふるさとまつり」の運営に携われたこと、親睦委員長として会の基本目標でもある「会員相互の親睦」について深く考えたこと、身に余る大役を任せられ全力を尽くした60期会長時代と、どれも鮮明に覚えています。

多くの仲間に出会い、喜怒哀楽、様々な経験をさ

せて頂きました。時にはぶつかりあう時もありましたが、それらも含め個々の成長であり学びの場であったと実感しています。仲間と共に活動し、刺激し合って高め合い、成長させて頂いた7年間は本当に有意義なものでした。

直前会長を終えてから卒業までの2年間は嘘のような穏やかな暮らしとなり、今後の人生においての会社の成長、自己の成長についてじっくり考えることも多くなりました。現状に満足せず、もっと刺激を、更なる成長を求めて、次のステップへ歩み出すことに決心できましたのも、竹の子会での経験があったからだと思えます。

これまで支えて頂きました諸先輩方ならびに現役会員の皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後益々のご活躍と会のご発展を心より祈念申し上げます。

7年間お世話になり、有難うございました。

7 8 月の予定

7月度例会(会員オリエンテーション)

日 時：令和元年7月12日(金)
場 所：青年の家研修室・ひさご

7月度例会(通常総会・懇親会)

日 時：令和元年7月22日(月)
場 所：大垣フォーラムホテル

8月度例会(水門川万灯流し)

日 時：令和元年8月3日(土)
場 所：水門川一帯

第51回交通遺児夏のつどい

日 時：令和元年8月25日(日)
場 所：東京ディズニーランド